

連載30

そして音楽の旅は続く

## 何でもいいから好きな歌を唄っていく

つい先日のことでしたが、FMラジオ出演の機会をいただいて、私のファミリーヒストリーならぬ、ミュージックヒストリーを2時間の生放送でおしゃべりしてきました。急なお話だったのでご案内できず、ごめんなさい。放送ではコンテスト参加曲からスタートし、思い出の曲もかけながらの企画でしたが、お話が弾んで時間が足りなくなっちゃって、JAZZとの出会いのお話にはたどり着けず心残りでした。ラジオ局には20枚位のCDを持参しましたがそのうちJAZZは5枚、自分のを5枚、後はほとんどが75~80年代のものでした。私も多感で動きの多いこの年代に出会った曲であると共に、たくさん名曲が生まれた時代だったと思います。キリがないので書きませんが、特別にお気に入りのLPに出会いました。Marlena Shawの“WHO IS THIS BITCH.ANYWAY?”です。こういった女性ボーカルを聴いたのは初めてだったのかなあ「ビビビッ!」カッコイイ~!の一言に尽きます。大好きな憧れのボーカリストなのでLIVEを聴きに行ってはサインをもらったり写真もご一緒してもらったりしていたのですが、ここ数年は来日していないようです。どなたかMarlenaの近況をご存



▲Marlena Shaw/Who Is This Bitch, Anyway?

知でしたら教えてくださいませ。

さて、なんだかフワッと東芝EMIを辞めてしまった私は、さてこれからどうしようかなあ。九州の両親は帰ってこい~帰ってこい~って言うんだけど...。とりあえず今まで忙しかったから、しばらくは遊んで暮らそうと決めました。その第一歩は輸入レコード屋さんでLPを買い込んで、朝から晩までの聴きまくりでした。その時にMarlena Shawのレコーディングメンバーからたどって聴いたりしたのですが、お恥ずかしいことにJAZZのミュージシャンとは全く気付きませんでした。当時はクロスオーバーとかフュージョンといったジャンルが流行ってて、それがJAZZとリンクしているとは思っていませんでした。あー恥ずかしい。とにかく

## ジャズボーカリスト 星乃けい

official website  
<https://www.hoshinokei.com>

私は新鮮で大好きな音楽に出会ってエネルギーをもらったので、故郷に帰るのが嫌になってしまい東京にズルズルと居座ってしまいました。そのうち、またスタジオでの仕事も始めていきました。東芝EMIを辞めて表舞台から去って、大きなチャンスを逃したのかもしれませんが、潮時だったのかもしれない。もし、その時の目標が「紅白歌合戦に出たい」だったら辞めるべきではないでしょう。石にかじりついてもその線で頑張るべきです。でも私は、何だか他の道を歩いてみたかった。唄う機会が減ってお喋りや撮影ばかりの毎日より好きなLP聴いて、何でもいいから好きな歌を唄っていく方を選びました。正解かどうか、わからないけど、一度の人生だから好きな道を選んで良かったみたい。



Photo: Yashiro Yasuda

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される